

2010（平成22）年度入学試験〔B日程〕 小論文問題の出題意図と採点基準

◆設問1

本設問は、政治哲学に関する比較的難解でかつ長文の文章（井上彰「平等と責任」創文 2008 年 12 月号）を素材として、筆者の主張内容を正確に把握する力、およびそれを一定の文字数で要約する力を確認しようとする問題である。具体的には、筆者が問題とした自己責任言説の具体的な内容、筆者が不平等に関する自己責任を問うために示した条件、この条件の成就可能性に関する筆者の見解、これらを踏まえた筆者の責任構想の実践的意義に言及しつつ、700 字以内で要約することが求められる。

◆設問 2

【出題の意図】

金融機関が中小企業に対して融資を行う場合に関し、その傾向・特質ならびにそこに内在する課題や問題点、そして改善のための方途を説明した文と図表、グラフを設問に即して読み解き、所定の字数で必要十分な回答をまとめる能力を測る。